

丸之内通信

9月號

東京高架道路起工認可

昨年春創立された東京高速地下鐵道會社（資本金三千萬圓）はその後新橋一濱谷間の起工認可を内務鐵道兩省に申請中であつたが、兩省では協議の結果

- 一、虎之門に文部省前停留所を設くること
- 二、濱谷驛前設備は都市計畫濱谷驛廣場計畫に順應すること

の條件を附し認可することに決定し廿七日、兩省から起工認可の指令を發した。この新橋一濱谷間は延長六キロ四分で虎之門、溜池、赤坂見付、青山一丁目、同四丁目、同六丁目の六ヶ所に停留所を設置するので同會社では来る九月十日起工式を擧げ明年十月まで新橋一虎之門間を完成し昭和十二年十二月までに全線完了を見ることになつてあると稱してゐる。

東京驛丸ビル間 地下道實現

東京驛と丸ビルをつなぐ地下道掘鑿は多年の懸案となつてゐたが、去る六月三菱地所課より鐵道省に再び同地下道設置の許可を願出たので詮議中のところ此程大臣の決裁を得て發表された。

三菱が國鐵に提出しに設計では東京驛乗車口の中央口から丸ビルの玄關を結ぶもので全長約六十間、地上表面から地下道上端まで七尺乃至十尺、地下道の幅員は二十四尺、高さ九尺、地下道出入口は乗車口の中央入口と丸ビル玄關内及び丸ビル前人道左右に二ヶ、また廣場中央の市バス停留場へも一箇所出入口が出来る、更に地下道中央から中央郵便局への

地下道も造る計畫だといふ。

この地下道工事實施について國鐵では次の様な條件をつけてゐる。

- 一、設計施工は東鐵局長と打合せること
- 一、維持費は鐵道省負擔のこと
- 一、將來改造する場合或は他に連絡の地下道を造る場合は國鐵と打合せること
- 一、地下通路は一般公衆の交通に供し料金を取らざること
- 一、工事の施工は省の指揮に従ふこと
- 一、鐵道用地下の地下道は鐵道省の所有とすること
- 一、工事施行のため國鐵の建造物その他の移轉等の費用は三菱負擔のこと
- 一、地下道施工の全工費は三菱の支出とすること

となつてゐるから具體的な設計は多少變化するかも知れないといふ、尙この地下道工費は中央郵便局の道下道を除いて約二百萬圓、尺當り五百圓といふから丹那トンネル工事尺當りのさつと半額を要することである。

關門海底隧道の ボーリング開始

工務局の立花技師を總指揮として調査を急いでゐる鐵道省關門トンネル路線の調査隊一行は下關と門司兩詰所を本據として連日鑿坑路線小森江弟子待間の海陸兩方面に瓦リ

ボーリングの準備を急いでゐたが、所謂海上ボーリングは十三日正午高さ五十尺の大橋に我國獨特の最新式B型ユニバーサル試錐機の据付けを終了、試運轉を行ひ萬端の準備を終つたので愈々十四日から晝夜兼行でボーリングを開始することとなつた。

海上ボーリングは小森江弟子待間一千二百米に五箇所を區切り二丁門の間隔を置き深さ海底二十五米までの土質を入念に調査し、一箇所凡そ二十日を要する豫定で十月未終了の豫定、尙ほ陸上ボーリングは来る十七日機械の到着と共に門司小森江附近の地質を調査することになつてゐる。

上田政義氏逝去

慶尚南道土木課長從五位勳六等上田政義氏は去七月中旬より盲腸炎に罹り治療中のところ肋膜炎を併發して八月五日午前一時四十五分遂に逝去された。葬儀は八月七日釜山府土城町妙心寺に於て執行されたが、官民多數の參列あり盛儀であつた。

上田氏は神奈川縣湯本町の人で既に本誌上にも發表されてゐる通り、朝鮮の土木事業に多大の貢獻をされ、道路、橋梁、海底隧道等幾多の新らしい工事を完成されてゐる。茲に上田氏が生前の功績を偲び謹んで哀悼の意を表する次第である。